

だから、議会は賛成した！

令和元年8月に策定された「和紙の有効活用による町の活性化計画」において「道の駅おがわまち」のコロナ禍を乗り越えて6年の歳月を費やし、本格的にスタートする施設の新築と大規模改修。「なぜ今、

「道の駅おがわまち」再整備

「機能充実」及び「和紙を中心とした観光施設としてのリニューアル」の必要性が示された。「道の駅の再整備が必要なのか。」全員一致で賛成した理由はこれだ！



「小川和紙」をPRする施設として「道の駅は欠かせない施設」だから再整備のテーマの1つ
「手漉き和紙」のさらなる発信を！

田中立男



年間4000万円かかっていた「指定管理料の半減」が見込めるから民間手法による柔軟な経営で売上に応じた「納付金」の増額を！

岡部久志



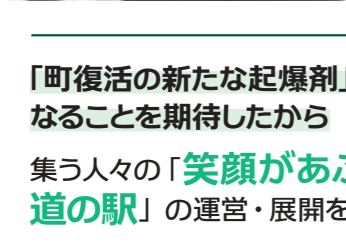
最大限の努力を払ってきたとの答弁に「決意」を感じたから
「官民一体」の取組で大成功の未来を！

稲村 穰治



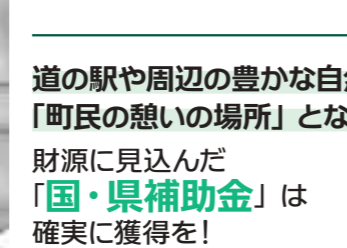
「持続可能なまちづくり」を進める起爆剤になると考えるから
「地域資源・地域経済・地域社会」の調和による運営を！

五十嵐康博



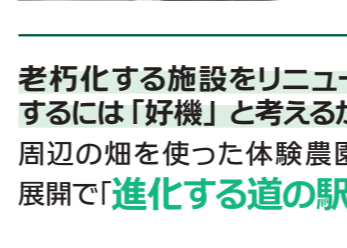
「町復活の新たな起爆剤」となることを期待したから
集う人々の「笑顔があふれる道の駅」の運営・展開を！

関根慶則



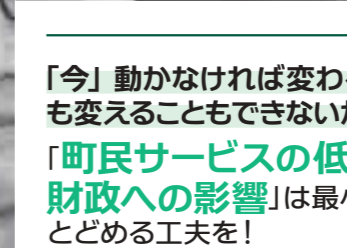
道の駅や周辺の豊かな自然は「町民の憩いの場所」となるから
財源に見込んだ「国・県補助金」は確実に獲得を！

田端良成



老朽化する施設をリニューアルするには「好機」と考えるから
周辺の畑を使った体験農園等の展開で「進化する道の駅」を！

鈴木秀尚




「今」動かなければ変わることも変えることもできないから
「町民サービスの低下や財政への影響」は最小限にとどめる工夫を！

笠原規弘




「体験型農業の展開や市街地への観光客の誘導」に期待できるから
さらに「住民の意見や要望」を受け入れた取組を！

大戸久一




町を元気にする事業で「未来への投資」と捉えたから
ワクワク感を得られるような充実した取組で「リピーター」の確保を！

笠原英彦



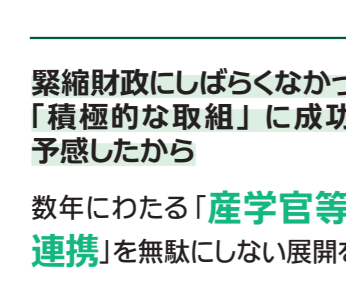
3世代で一緒に楽しめる「コンパクト」な施設に期待が持てるから
「関係人口」につながる周辺整備と遊具の増設を！

高橋さゆり



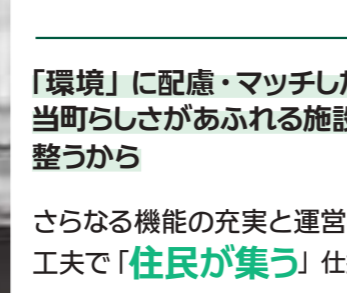
「修繕と再整備のコスト」を考えたとき改修時期であると判断したから
「地域住民の生活」に配慮した運営を！

島崎隆夫



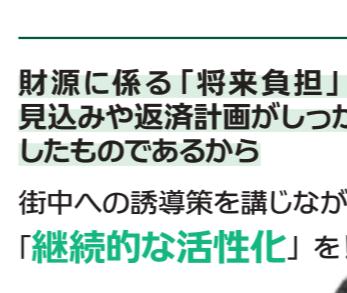
緊縮財政にしばらくなかった「積極的な取組」に成功を予感したから
数年にわたる「産学官等の連携」を無駄にしない展開を！

田中照子



「環境」に配慮・マッチした当町らしさがあふれる施設が整うから
さらなる機能の充実と運営の工夫で「住民が集う」仕掛けを！

高瀬 勉



財源に係る「将来負担」の見込みや返済計画がしっかりしたものであるから
街中への誘導策を講じながら「継続的な活性化」を！

山口勝士



議長 **高橋 功人**

町民の理解と応援に期待

新築・改修…14億1567万円 周辺整備…3億9226万円

関連予算 18億790万円超を決定

※財源の見込み→町負担…約8億円 国及び県、その他…約10億円

議決と説明の責任

コロナ後の小川町復活のカギとなる「道の駅」関連予算案を可決した。各議員は様々な立場を超え賛成の決断を下した。「賛成起立」の瞬間から、なぜ賛成したかを町民に説明する「責任」が生じる。令和に入り最大級の事業である。今後は町民の理解と応援に期待したい。